

総務教育常任委員会資料

(令和5年3月9日)

〔件名〕

- ・鳥取県における行財政改革の取組と成果について
【行財政改革推進課】・・・2
- ・公文書館企画展「沖兄弟の写真展—記録と芸術のあゆみ—」
の開催について
【公文書館】・・・3

総 務 部

鳥取県における行財政改革の取組と成果について

令和5年3月9日
行財政改革推進課

平成19年度以降本県で取り組んできた行財政改革の取組や成果を取りまとめたので報告します。

1 取りまとめの趣旨

鳥取県では平成19年度以降、持続可能な行政体制を目指し、「財政誘導目標」を堅持した財政運営を基本指針とした上で様々な行財政改革に取り組んできた。今後、人口減少と少子高齢化に起因する社会保障関係費等の増加が見込まれる中、ポストコロナにおける社会変革を踏まえ、デジタル社会への対応、民間活力の導入等の対応などにさらに大胆に取り組んでいくことが求められている。

こうした状況に的確に対応しながら、今後も、持続的かつ効果的な行財政改革を進めていくため、これまでの行財政改革の取組や成果を総括して県民の皆様と共有する。

2 取りまとめの概要

(1) 財政誘導目標を堅持した財政運営

「一定以上の基金を確保しつつ県債残高を一定水準以下とするともに、プライマリーバランスを黒字化する」財政誘導目標を設定し、4期すべてで達成した。

(2) 業務の標準化・効率化

I C Tを活用して県民の利便性向上と業務効率化に取り組み、新たな時間創出やコスト削減を実現した。

- ・県庁基幹システム刷新及び運用開始 (H29～31 財務会計、税務、給与)
- ・定型業務の自動化 (RPA、AI-OCR、AI チャットボット、AI を活用した議事録作成支援等)
- ・オンライン行政手続の活用拡大 (H28～)
- ・次世代庁内 LAN (新インターネット環境等) の導入 (R4～) 等

(3) 組織体制改革・適正な給与制度の推進

カイゼン活動の推進や I C Tの活用等により業務の無理・ムダを省き、簡素で機能的な組織の構築を実現した。

(4) 民間活力の導入・財源確保対策

平成28年度に「鳥取県 PPP/PFI 手法活用の優先的検討方針」を策定し、県内での PPP/PFI 手法の実績を積み重ねるとともに、ふるさと納税やネーミングライツ等による新たな財源確保に努めた。

- ・県有施設 (鳥取二十世紀梨記念館、とっとり賀露かっこ館等) への指定管理者制度導入
- ・鳥取空港へのコンセッション方式導入決定 (H29。運営開始 H30.7～)、県営発電施設 (春米、小鹿第一・第二、日野川第一) へのコンセッション方式導入決定 (H29。春米発電所の運営開始 R2.9～)
- ・県立美術館整備 (H30)、西部総合事務所新棟整備 (R元)、米子新体育館 (R3)、県営住宅上栗島団地 (R4) への PFI 手法活用決定

(5) 公共施設等の適正な管理

「鳥取県公共施設等総合管理計画」(H28.3 策定) に基づき、長期的な視点で長寿命化・更新・統廃合等を行うことで、財政負担の軽減・平準化と公共施設の適正な配置等を進めた。

- ・公共施設等の計画的な長寿命化・予防保全型の管理 (改修、維持管理費の抑制)
- ・公共施設等の保有総量の最適化 (公の施設の民間譲渡、未利用財産の売却等)

(6) 市町村との協働連携

効果的かつ効率的に地域の課題を解決するため、県と市町村との事務の連携や共同化を進めた。

- ・H30 鳥取市の中核市移行に伴い県から市へ保健所業務など約 2,600 項目の事務を移管し、東部の窓口を一本化
- ・日野郡ふるさと連携協約の締結 (H27.7) (県道の除雪・維持の町への委託)
- ・県と市町村との連携による情報システムの共同化 (学校業務支援システム他) 等

(7) 公社・公営企業経営の健全化

県が出資する公社及び公営企業 (住宅供給公社、県造林公社、県天神川流域下水道事業、企業局) について将来に向けて経営の健全化を図るため、経営健全化・改革に係る計画等の策定・見直しを実施した。

公文書館企画展「沖兄弟の写真展—記録と芸術のあゆみ—」の開催について

令和5年3月9日
公文書館

鳥取県職員として県行政の一端を担った沖節男氏、同じく鳥取県職員、鳥取県副知事を務めた沖正氏の兄弟及び警察官であった父・高造氏が残した写真アルバムや資料をもとに、昭和初年以降の鳥取県の景観や出来事等を振り返ります。

合わせて、二科会の会員であった沖正氏の出品写真や愛用のカメラを紹介します。

1 会期・会場

会期：令和5年3月1日（水）～3月29日（水）

会場：公文書館及び共通通路（公文書館側）

2 主催等

主催：公文書館

共催：県市町村歴史公文書等保存活用共同会議

3 主な展示構成

（1）沖高造氏の記録

履歴に係る公文書、警察官時代や弓道指導者時代の写真

（2）沖節男氏の記録（占領軍の進駐）

渉外課（進駐軍担当課）勤務の際に撮影された進駐軍の様子を捉えた写真や進駐軍の名刺、進駐軍のJ・ロビネットに関する資料類や渉外課旧蔵の写真アルバム

（3）沖節男氏の記録（県中部に係る写真）

鳥取県庁に入庁した昭和10年代の県中部に関する写真

（4）沖正氏の記録（米子大博覧会）

昭和25年に米子市で開催された米子大博覧会の会場を撮影した写真

（5）沖正氏の記録（鳥取大火）

昭和27年に発生した鳥取大火の延焼と焼失の状況を撮影した写真

（6）沖正氏の記録（昭和20、30年代の景観）

鳥取市街、県庁、武家門、若桜街道

（7）沖高造・節男・正氏 父子の略年譜

高造・節男・正氏の略年譜、家族写真や節男氏、正氏の写真や資料

（8）写真家・沖 正

沖正氏肖像写真、愛用のカメラ、写真台帳、沖正苑植田正治書簡、二科展出品写真パネル、二科展図録

4 その他

展示点数は約130点。半数以上が初公開の資料です。

